

## ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

### 1. 基本情報

ふりがな	きとりょうた			
氏名	木藤 亮太			
所属	株式会社ホーホウ			
役職	代表取締役			
活動エリア	九州			
連絡先	住所			
	電話番号			
	メールアドレス	kitotic@gmail.com		
キャッチコピー	焼酎を酌み交わしながら「地域にべったり寄り添い」まちを変えていく専門家			
自己PR	日南市・油津商店街の再生事業、那珂川市の老舗喫茶店「キャプテン」の事業承継、博多南駅前ビル NAKAICHI・豊後大野市関係人口交流拠点施設cocomioの指定管理など。これまで、まちづくりを通じて「地域の未来を創る」ことに取り組んできました。かつて衰退していた地域で新たな店舗や事業の誕生を支援し、過去の形を再現するのではなく、未来に向けた価値を生み出すことを重視してきました。地域の特性を見極め、求められる役割を果たすことで、新たな賑わいや経済の循環を生み出すことに挑戦しています。「場づくり」が重要です。新たにつくる、あるものを活かす、事業を受け継ぐ、地域のアイデンティティを再構築し、世代を超えたつながりを生む仕組みづくりが重要です。まちの発展とともに変化が求められる中、若い世代が挑戦できる環境を整え、新たな視点を取り入れながら、まちの持続的な成長を支える活動を続けています。まちづくりの軸は「世代をつなぐ」こと。過去の知恵と未来の可能性を融合させ、新たな価値を創出し続けることで、地域に根ざした持続可能なまちづくりを実現していけるよう努力します。			
関連ホームページ	名称	アドレス		
	まちの「温度」を変えたい “地域活性化請負人、木藤亮太の新たな挑戦	<a href="https://qualites.jp/article/kitou">https://qualites.jp/article/kitou</a>		
	福岡県那珂川市の楽しい玄関。多様な価値観が集まる「ナカイチ」	<a href="https://sotokoto-online.jp/local/1062">https://sotokoto-online.jp/local/1062</a>		
	惜しまれつつ閉店した「キャプテン」が、新たな“キャプテン”を迎え復 テン」が、新たな“キャプテン”を迎え復活	<a href="https://relay.town/magazine/captain/">https://relay.town/magazine/captain/</a> <a href="https://nob-ju-draft.jp/">https://nob-ju-draft.jp/</a>		

### 2. 略歴・受賞歴

略歴・受賞歴	<p>福岡県那珂川市在住(子供の頃は転校生で、埼玉県～千葉県～福島県～福岡県と転々)</p> <p>平成11年3月 九州芸術工科大学環境設計学科(学部～大学院計6年)修了</p> <p>平成11年度～平成25年度 株式会社エスティ環境設計研究所</p> <p>平成25年度～平成28年度 テナントミックスサポートマネージャー(油津商店街・宮崎県日南市)</p> <p>平成29年度～平成30年度 事業間連携専門官(福岡県那珂川市)</p> <p>平成30年度～現在 株式会社ホーホウ 代表取締役</p> <p>令和元年～現在 株式会社ノバトタッチ(喫茶キャプテン・那珂川市)</p> <p>令和2年～現在 九州地域間連携推進機構株式会社 取締役(九州移住ドラフト会議)</p> <p>令和2年度～現在 博多南駅前ビルNAKAICHI(那珂川市)指定管理</p> <p>令和3年度～現在 株式会社4WD 代表取締役(まちの食交場 るるる・古賀市)</p> <p>令和3年度～現在 豊後大野市関係人口交流拠点施設cocomio(豊後大野市) 指定管理</p>
--------	---

### 3. 取組分野

● 観光	プロ野球キャンプと連携した賑わいづくり、文化的景観の活用
● 移住・定住・関係人口	
● 農林水産業	
● 起業支援	商店街における起業支援、地方都市におけるIT関連企業の誘致
● まちなか再生	商店街の再生・活性化、リノベーションによる店舗づくり
● 集落再生	
● 環境	
● その他	

### 4. ふるさと財団での実績

外部専門家 (活用助成)	<p>◆2023年度～ 福岡県直方市 直方市中心市街地エリアマネジメント事業</p> <p>◆2017年度 宮崎県日南市 油津まちなか再生(エリアマネジメント)事業</p>
-----------------	--

## 5. 取組内容・実績

取組内容・実績

### 【取組事例①】

(1)事業名 : JR古賀駅西口エリアマネジメント支援業務  
 (2)対象地 : 福岡県古賀市(JR古賀駅西口)  
 (3)事業目的: 古賀駅周辺の商店街エリアで、創業や二次創業、事業継承を視野に空き家活用による拠点づくりとコミュニティ形成を行う。  
 (4)事業内容:  
 直方市中心市街地の活性化を目的に、エリアマネジメント支援を行う。現状分析を基に、市民の関心を集める協議の場を設け、持続的なまちづくりの体制を構築。空き店舗活用や拠点整備を支援し、地域資源を活かした事業創出を促進する。法人化・収益化を視野に入れた自主可能な組織形成を目指し、地域プレイヤー間の調整を行いながら、地域全体の活性化を推進する。  
 (5)事業による成果:  
 ①エリアマネジメントの持続性を担う「株式会社4WD」の設立: まちづくり会社「株式会社4WD」が設立され、地域のエリアマネジメントを担う体制が整いました。これにより、単発のプロジェクトに留まらず、持続可能なまちづくりの基盤が形成されました。  
 ②多目的シェアスタジオ(Koga ballroom)の開設: 元ダンススタジオをリノベーションし、多目的に利用できるシェアスタジオ(Koga ballroom)が誕生しました。地域のイベントや文化活動の拠点となり、住民の交流を促進しています。  
 ③まちに開かれたオフィス(まちの企画室)の設立: 古賀駅前の空き店舗を活用し、「株式会社4WD」の拠点となる「まちの企画室」が誕生。ここではプロジェクトの進捗情報を公開し、市民が気軽に相談や交流ができる場として機能しています。  
 ④食の交流拠点(ぐるるる)のオープン: 元音楽教室をリノベーションし、シェアキッチンやテナントスペースを備えた食の交流拠点(ぐるるる)が2023年7月にオープン。地域の食文化の発信拠点として、新たなビジネスやコミュニティ形成の場となっています。  
 これらの取り組みにより、古賀駅西口エリアの回遊性が向上し、まちづくりの持続可能性が高まりました。

### 【取組事例②】

(1)事業名 : 油津商店街再生テナントミックスサポートマネージャー  
 (2)対象地 : 宮崎県日南市(油津商店街)  
 (3)事業目的: 持続可能な地域活性化と新たな価値創造にある。シャッター街と化した商店街に人の流れを取り戻し、地域経済を活性化することが主眼。単なる空き店舗対策ではなく、若者や事業者が集う場をつくり、企業誘致を促進。地域住民と連携し、交流イベントや多世代が関われる拠点を形成することで、商店街を「働く・暮らす・学ぶ場」として再生し、長期的に発展可能な仕組みを築くことを目指した。  
 (4)事業内容: 日南市中心市街地の活性化を目的としたテナントミックスサポートマネージャー(TMSM)業務です。具体的には、商業活性化の企画・実施、活性化事業の検討や関係者の意見調整、油津商店街を含むエリアの商業実態調査、空き店舗活用計画の策定とテナント誘致(4年間で20店舗目標)、タウンマネジメント体制の整備、にぎわい創出のためのソフト事業支援、商店街の経営改革支援、まちづくり会議への参加など、多岐にわたる業務を遂行します  
 (5)事業による成果:  
 日南市は、人口減少や少子高齢化、若者の流出など、多くの地方都市が抱える課題に直面していました。その中心市街地である油津商店街も、基幹産業の衰退や交通手段の変化により、空き店舗が増加し、活気を失っていました。この状況を打開するため、日南市は2012年度から中心市街地活性化事業を開始し、商店街再生を担うテナントミックスサポートマネージャーを全国から公募しました。333人の応募者の中から選ばれたのが、木藤亮太(私)でした。  
 2014年11月には、商店街再生の象徴となる「ABURATSU COFFEE」がオープン。さらに、2015年12月には、多世代交流モールが開設され、地域住民の交流拠点として機能しています。商店街再生の成功は、地域全体の活性化にも波及しました。東京のIT企業「PORT株式会社」が商店街内にオフィスを開業し、地元若者の雇用を創出。さらに、他のIT企業の進出も相次ぎ、商店街は新たな産業の拠点としても注目されています。「商店街を若く優れた人材を育む場、働く場、暮らす場として魅力を高めていくことが重要」と述べています。油津商店街の取り組みは、地方創生の成功事例として、多くの自治体や地域にとって参考となるでしょう。

### 【取組事例③】

(1)事業名 : 豊前市活躍拠点整備・ハレノヒ実現プロジェクト  
 (2)対象地 : 福岡県豊前市(JR宇島駅周辺、求菩提エリア)  
 (3)事業目的: 豊前市における地域活性化と持続可能なまちづくりを目的とする。市民が主体的に関わる仕組みを作り、若手人材の育成、空き店舗の活用、地域資源の再評価を通じて、地域の魅力を向上させる。地域に根ざした多様な活動を促進し、外部との交流を深めることで、持続可能な地域コミュニティの形成を目指す。  
 (4)事業内容:  
 ・市内の活躍拠点ZigZag、KITEN、求菩提茶屋の整備、運営体制の確立  
 ・空き店舗の利活用促進とテナント誘致支援  
 ・地域課題解決型企業の誘致および創業支援  
 ・若手人材の発掘および学びの機会提供  
 ・地域間ネットワーク強化と広域連携の促進  
 ・市民参加型のワークショップやイベント開催  
 ・観光資源の活用と回遊性向上のためのサインデザイン整備  
 (5)事業による成果: 本事業の実施により、地域の「活躍人口」が増加し、市民の主体的な関与が促進される。空き店舗の活用が進み、商業の活性化につながるほか、新たな企業誘致による雇用創出が期待される。さらに、観光資源を活かしたエリア間の回遊が促され、地域経済の発展が進む。最終的には、市民がまちの未来を自ら描き、持続可能な地域運営を実現する環境が整う。

### 【取組事例④】

(1)事業名 : 豊後大野市関係人口交流拠点施設「cocomio」管理運営・創業支援事業  
 (2)対象地 : 大分県豊後大野市(緒方町)  
 (3)事業目的: 豊後大野市における関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進、起業支援を目的とする。地域住民と都市部の人々がつながり、学び合い、共に成長する場としてCocomioを活用し、地域経済の活性化と持続可能なコミュニティ形成を目指す。また、サテライトオフィスやワーキングスペースの活用促進により、多様な働き方を支援し、地域と都市の新たな関係性を構築する。  
 (4)事業内容:  
 ・Cocomioの管理運営(受付・利用調整・施設維持管理)  
 ・関係人口創出のためのイベントやプログラムの企画・運営  
 ・都市部企業との連携促進によるワーケーションやサテライトオフィス活用の推進  
 ・創業支援プログラム(セミナー・相談・メンタリング)の実施  
 ・空き店舗活用支援および事業継承支援  
 ・地域間ネットワーク強化および広報活動(SNS、HP運営)  
 ・カフェ・ゲストハウスの運営支援による滞在促進  
 (5)事業による成果: cocomioが地域内外の多様な人々が交流し、学び合う拠点となる。関係人口が増加し、移住・定住の促進につながるほか、創業支援を通じて新規事業の創出が期待される。また、都市部企業の誘致やワーケーションの受け入れ拡大により、地域経済の活性化が進む。最終的には、地域住民が主体的に関わる持続可能な地域運営モデルを確立できた。